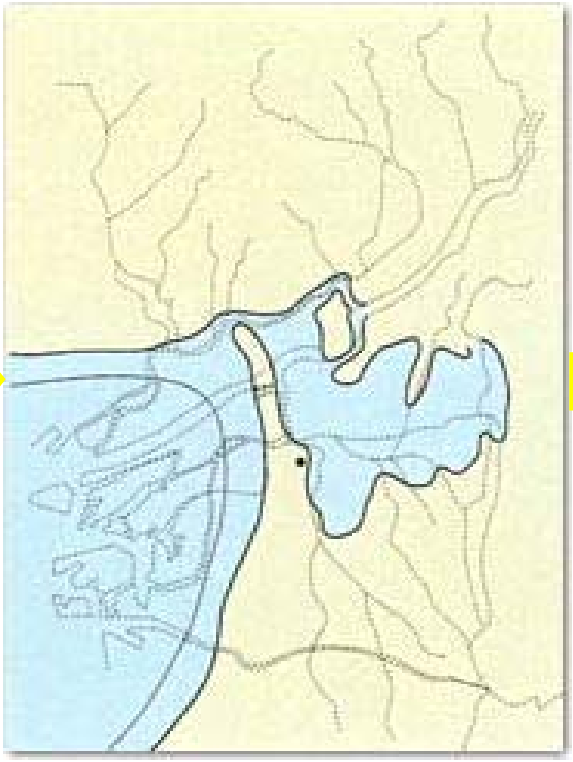
大阪湾の防潮堤・コンビナート被害対策プロジェクトチーム

メンバー　（藤永･日朝･藤原･有田）

大阪府関係職員労働組合
職場／大阪府西大阪治水事務所
報告者　　有田　洋明

大阪市内（河内平野）の形成

河内湾の時代
（約7000～6000年前）



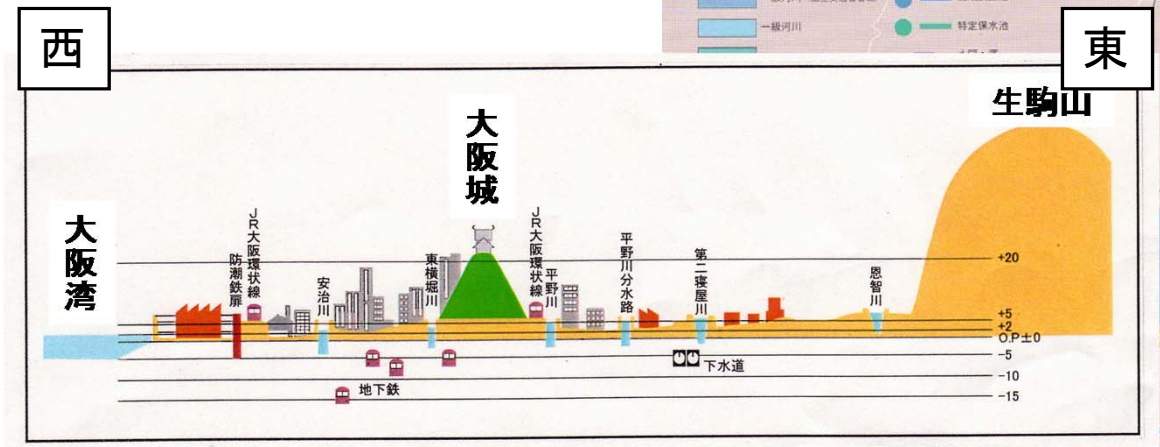
河内湖（Ⅰ）の時代
（約1800～1600年前）

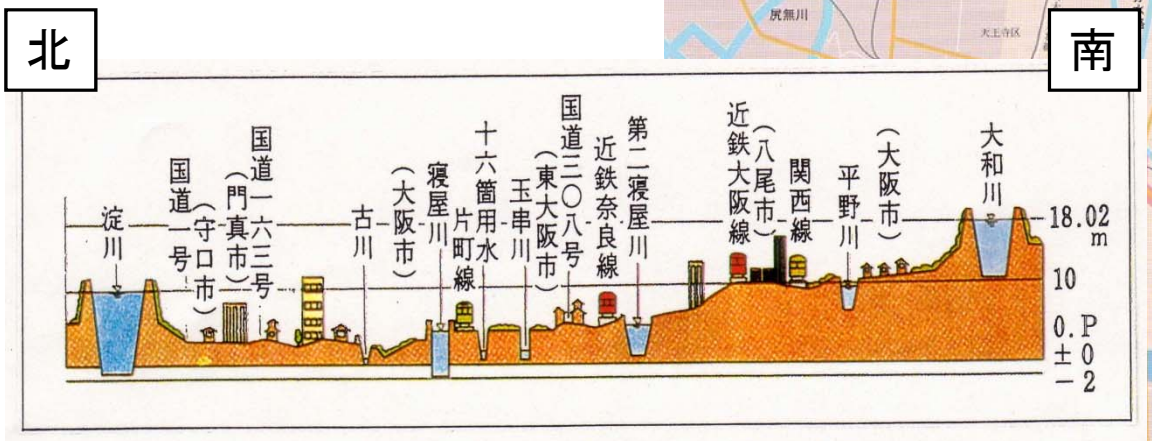
河内湖（Ⅱ）の時代
（約1500年前）

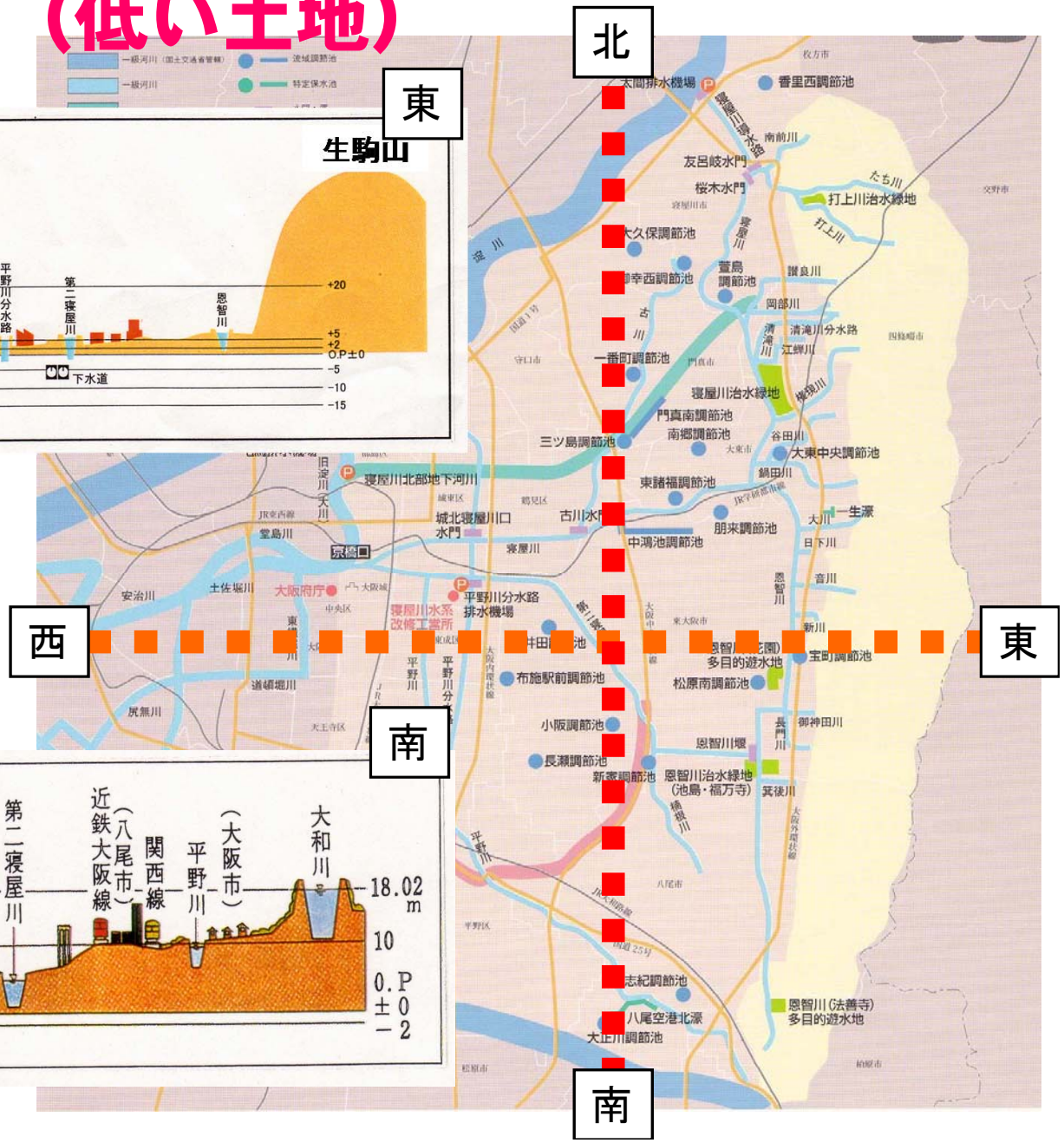
梶山彦太郎・市原実著『続大阪平野発達史』より

現在の地形となったのは、江戸時代のはじめ頃といわれています。

大阪平野の特徴（低い土地）



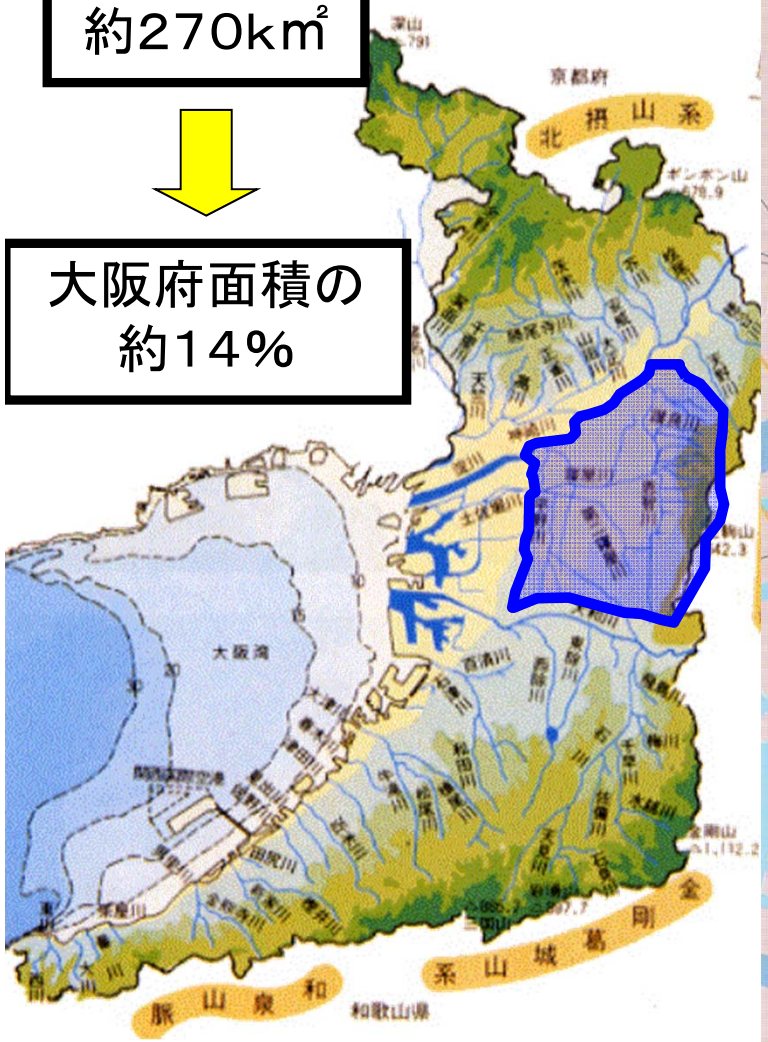


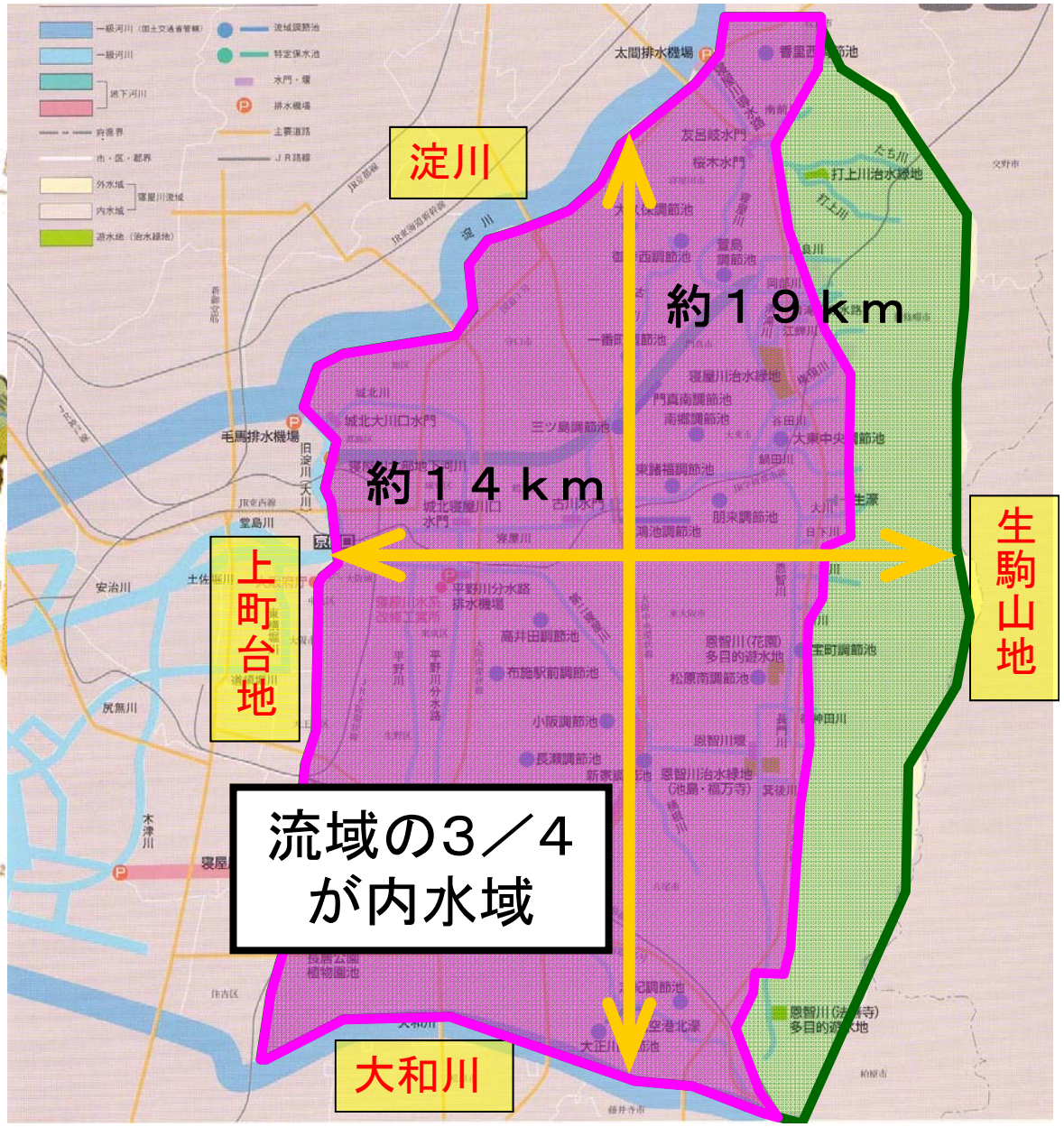


寝屋川流域の特徴（ほとんどが内水域）

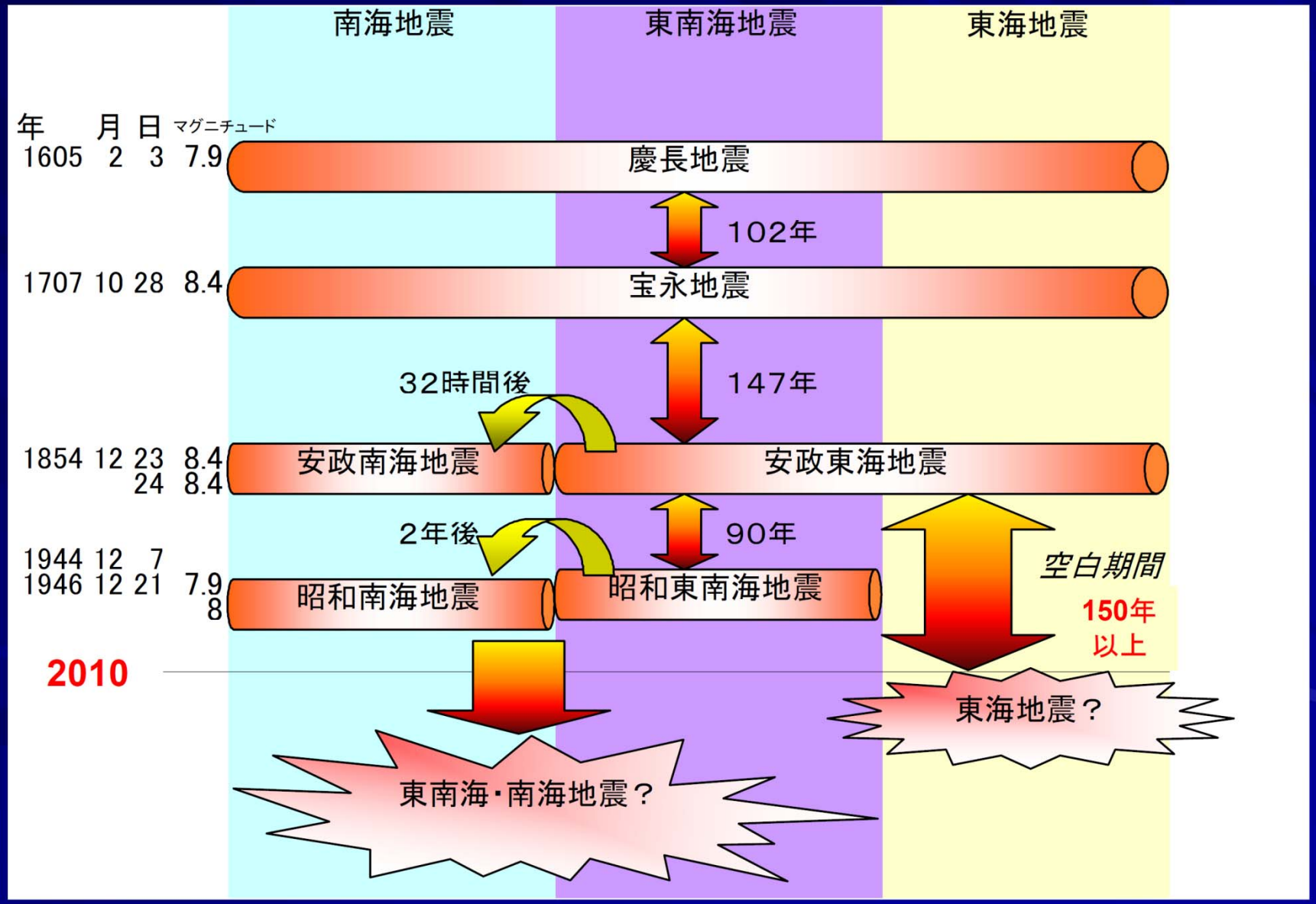
流域面積
約270km²

大阪府面積の
約14%

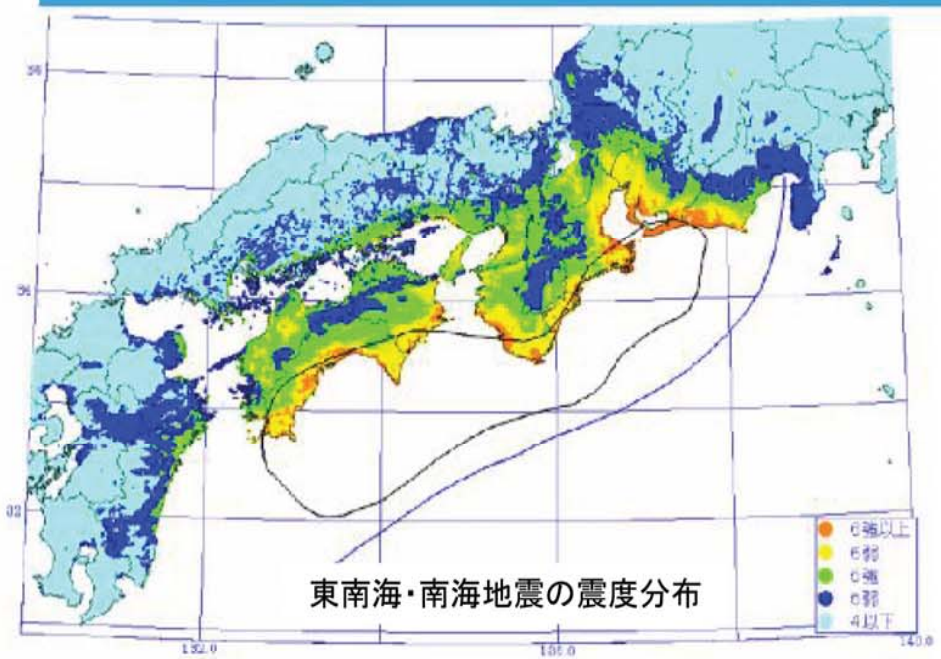




これまでの東南海・南海地震



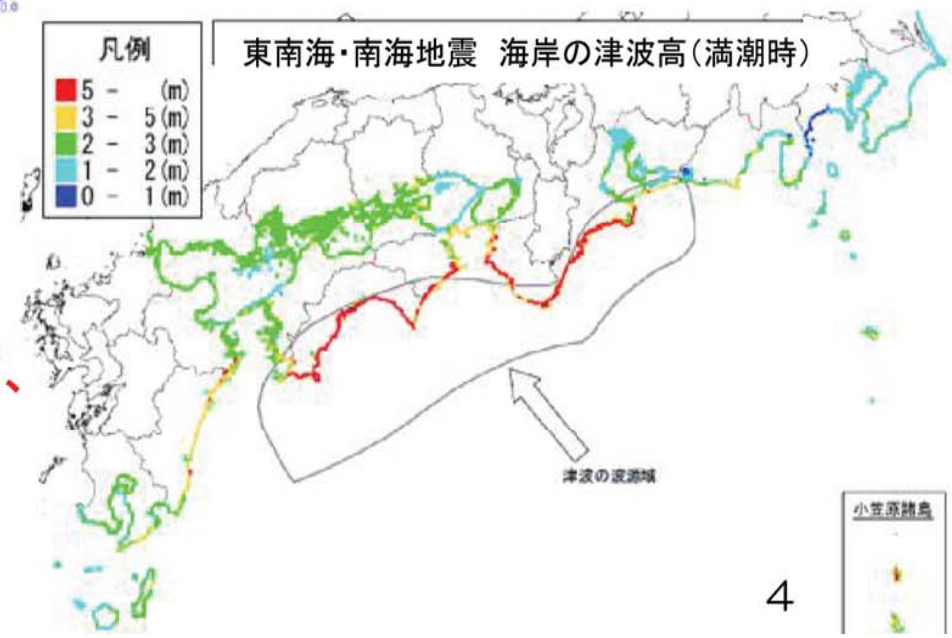
東南海・南海地震の震度と津波高



東南海・南海地震の震度分布

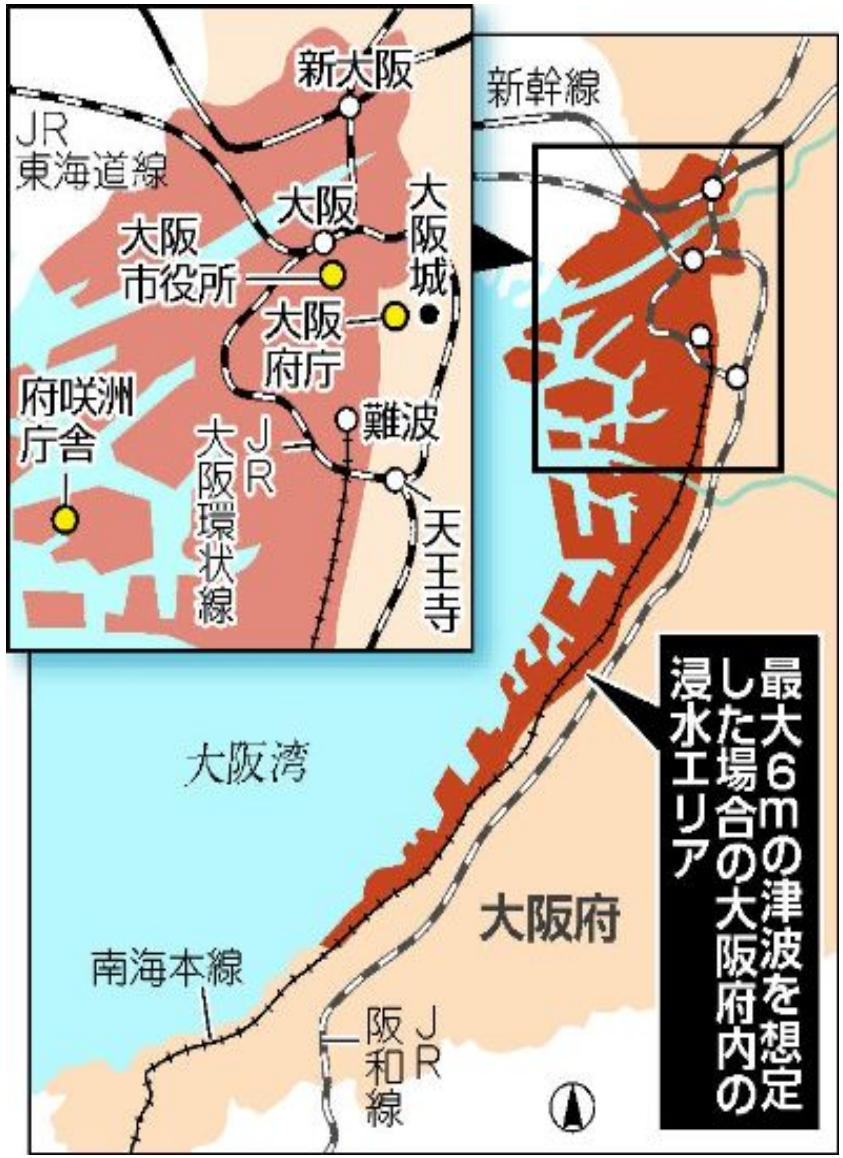
・西日本全域に強い揺れ
大阪府内は震度4から6弱
長周期の揺れが数分間継続する

・沿岸部に津波
大阪府には60～120分で到達
津波波高1～3m
防潮扉等の施設が閉鎖できなければ、
内陸部も浸水

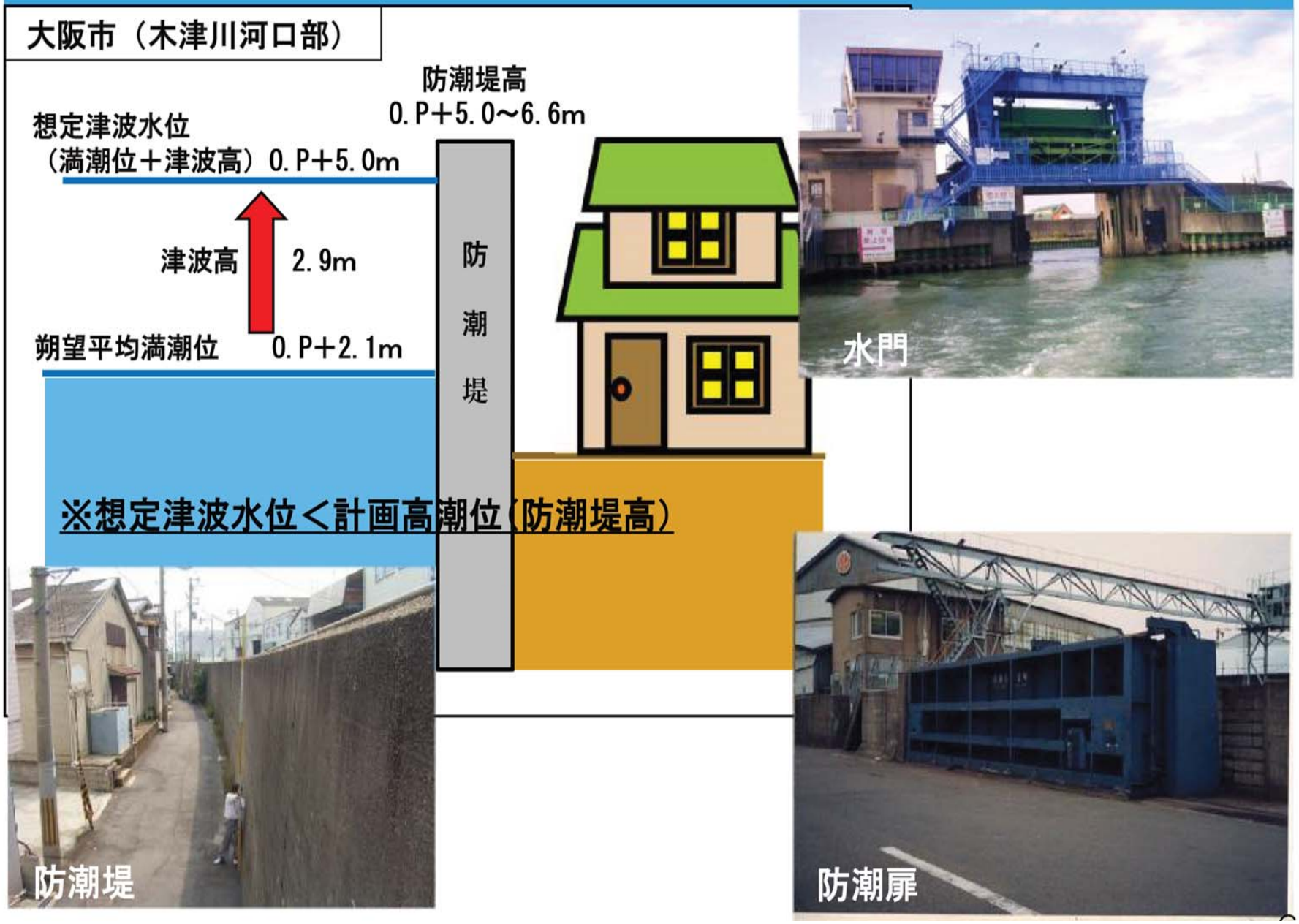


出典：中央防災会議資料より

Ｍ９規模での津波による浸水被害



津波防御のイメージ


大阪市（木津川河口部）
防潮堤高
0.P+5.0～6.6m
想定津波水位
（満潮位＋津波高）0.P+5.0m
津波高
2.9m
朔望平均満潮位
0.P+2.1m
防潮堤
水門
※想定津波水位＜計画高潮位（防潮堤高）
防潮堤
防潮扉

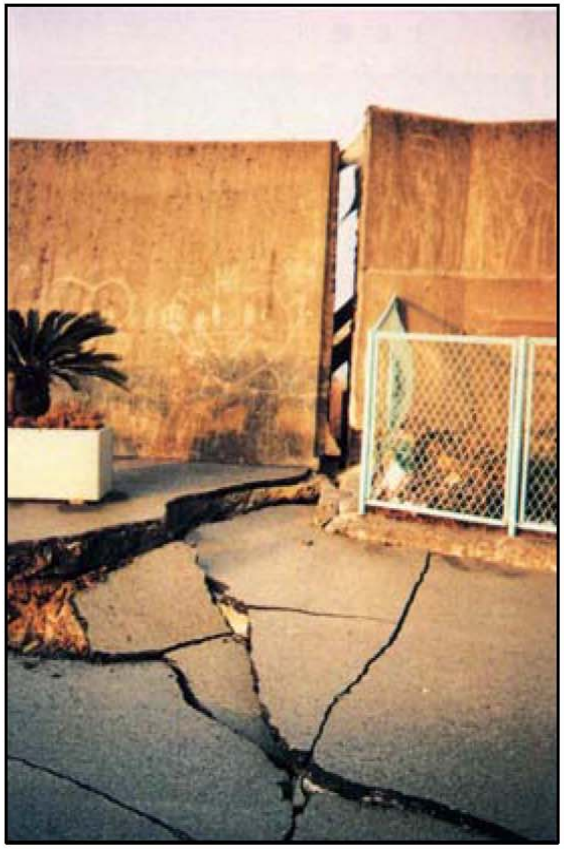
水門内の防潮堤

防潮堤天端
（5mを確保）
昭和9年　室戸台風最高潮位
OP+4.20
OP+4.12
昭和36年　第2室戸台風最高潮位
OP+3.85
昭和25年　ジェーン台風最高潮位
OP+2.10
日々の満潮
堤内地盤高

耐震補強を行わないと？

堤防・防潮堤が地震によって崩壊すると、浸水によって大きな被害が発生します。

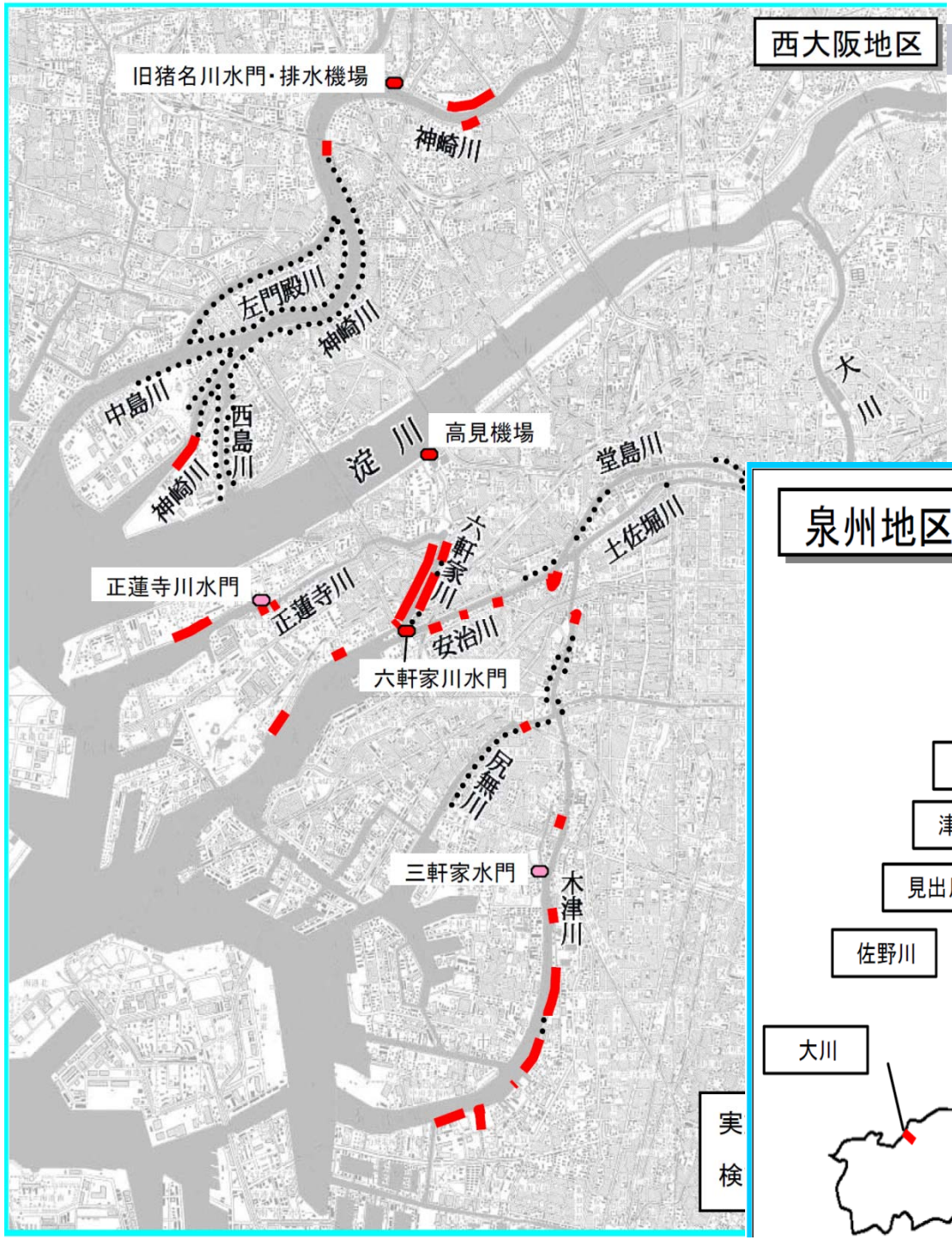
（兵庫県南部地震による被害）

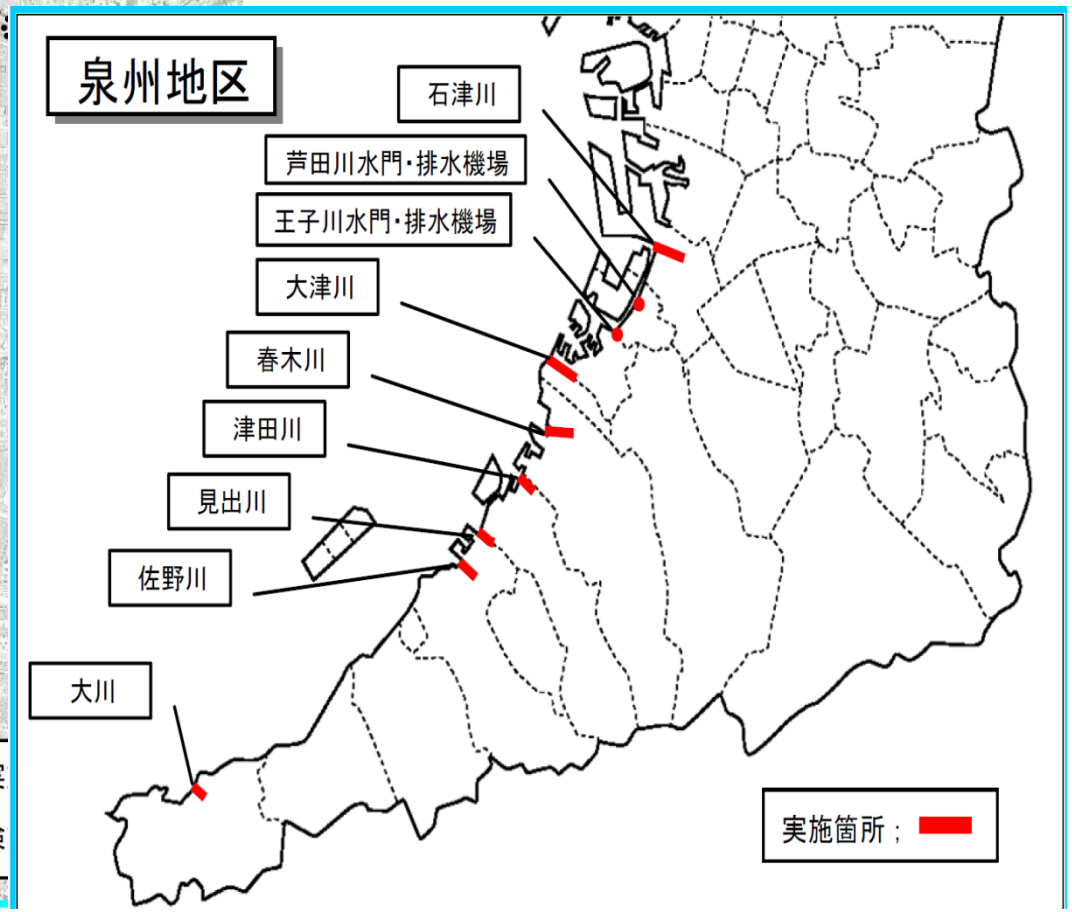


整備箇所選定の考え方

地震により防潮施設の機能が損なわれ、津波や日々の干満で浸水被害が発生するおそれがある箇所について、今後 10 年間で耐震補強を実施します

引き続き、地震により防潮施設の機能が損なわれ、高潮時に浸水被害が発生するおそれがある箇所について、対策を検討します


西大阪地区
旧猪名川水門・排水機場
神崎川
左門殿川
神崎川
中島川
西島川
神崎川
淀川
高見機場
堂島川
土佐堀川
六軒家川
正蓮寺川水門
正蓮寺川
安治川
六軒家川水門
尻無川
三軒家水門
木津川
大川
実
検


泉州地区
石津川
芦田川水門・排水機場
王子川水門・排水機場
大津川
春木川
津田川
見出川
佐野川
大川
実施箇所；

ハード対策（施設操作の高度化）

○ 施設の遠隔監視・操作化

三軒家水門

・遠隔操作
・遠隔監視

防潮扉の電動化

・遠隔監視

大　阪
毛馬排水機場
高見排水機場
安治川水門
尻無川水門
木津川水門
淀川区
旭区
北　区
都島区
福島区
城東区
西　区
中央区
東成区
此花区
港　区
大正区
浪速区
天王寺区
生野区
淀　川
神崎川
西島川
正蓮寺川
六軒家川
尻無川
三軒家川
木津川
(堂島川)
(安治川)
旧淀川(大川)
土佐堀川
道頓堀川
東横堀川
京橋口
大阪城
近畿地方建設局
通天閣
大阪
京橋
西九条
天王寺
JR難波
JR京都線
JR桜島線
JR大阪環状線
JR大和路線
阪神高速東大阪線
国道1号
国道25号

1．津波被害を想定し正しい情報
　と迅速な避難ルート

2．自治体と自治体労働者の役割
　を発揮できる体制を

3．災害を最小限にするため！
　災害に強いまちづくりを

4．国と自治体が責任をもって
　石油コンビナートの津波対策を

5．港湾・河川の防潮堤防の耐震化整備
　と老朽化対策を